

平成育ちの町 棚峯町会



ここで生まれ育った子どもや孫たちに、何年たってもこは『故郷』ですよと言える様に役員会員一丸となって本町会を守り、育てていきたいものです。」

平成と共に始まった私達の町会は現在3常会365世帯で構成されています。

この度は6年間町会長を務められた久保田信二さんに当町会についてお話を伺いましたので紹介させていただきます。

「全く初対面の人同士が期待と戸惑いのなか手探りでスタートした当町会も紆余曲折を経て今日に至りました。

年を経る毎に努力が実を結び、運動会では勝てなかった綱引きも勝つようになり、今では中山町会連合会の一角を担えるまでになりました。

棚峯町会の特徴は、地区協定に沿った住宅、豊かな自然、整備された住環境です。

住みやすい中山台を目指して会員全員で協力する清掃活動や、各種のボランティア活動もそのひとつだと思えます。皆で決めたルールに従い、公民館を活用したサークル活動は十数グループを数え、健康づくり、趣味づくり、絆づくりの活動を、自主的且つ活

発に行っています。

町会は会員の負担になる組織ではなく、お互いの状況を良く知り出来る人が、出来るやり方で、出来るときに、出来ることをする姿を目標にしています。

地域力は与えられるものではなく、創り上げるものです。今後益々高齢化に伴い個々では出来ないことが多くなります。そんな時こそ、皆で助け合いうのが町会です。



新年会で行われる餅つき



納涼祭の子ども神輿



大久保緑地展望台から望む

―大人も子ども也大いに楽しみました―
中山映画会開催

2月15日(土)に毎年恒例の中山映画会が開催されました。今年度は他の会議との兼ね合いもあり、例年より狭い部屋での開催となりましたが、午前の子ども向け映画「トイ・ストーリー4」では、未就学児21名含む合計32名が参加し、午後の映画「あん」も40名の大人が参加するなど大盛況の催しとなりました。

特に「あん」は、一昨年に惜しまれつつも亡くなった昭和・平成の大女優、樹木希林さんの最後の主演作という話題作で、また同じく昭和・平成を代表する大女優で、昨年亡くなった市原悦子さんとの初共演作ということで、大変注目されていた作品です。

鑑賞を終えた参加者からは、「樹木希林さん、市原悦子さんの2大女優共演はもう見られないが、感動しました」、「ハンセン病をテーマとした作品であり、病気に対する人への差別や偏見について改めて考えさせられた作品だった」と多くの感想をいただきました。

館報委員になって、一年が過ぎた。その間、機知に富み個性豊かな先輩方から、記事に関することはもちろん、ライフスタイルについても、いろいろ学ばせていただいた。そんな皆さんも、この春卒業を迎えることとなり、寂しさを感じる。

気持ちを切り替えて、新しい出会いにも期待しよう。

(H・k)

